

事業概略書

| | |
|------------|--|
| 事業名 | 障害者のアート作品による創造的工賃支援・社会参画モデル事業 |
| 事業目的 | 障害とは、人と人との間にあるものであり、「間」とは人と人との繋がり・関係性であるといえる。アートの視点から、地域や日常の中の価値を再発見し、岡山の魅力を高めようと考えた。障害者の芸術・文化のある成熟したライフスタイルを支援し、その価値を地域社会に浸透させ豊かな市民文化を創造するために、障害者自身が制作した作品を客観的に評価し、その作品から商品開発を行い、製品化し販売のルートを作っていくこと、岡山県内の福祉施設などと連携して販売促進活動を行い、関わる人たちの工賃水準を引き上げる仕組みづくりを構築していくことを目的として実施した。 |
| 事業概要 | ①障害者施設約400件の文化芸術活動の調査研究を行い、一方で、創造的活動を取り入れた施設関係者への聞き取り調査の実施。 ②障害者の創造的な発想を基にした商品の開発を行い、実際の店舗を一ヶ月間岡山市中心部の商店街に開き、岡山県内外の商品を陳列・展示・販売するとともに、体験的講座、障害児・者も自主的に参加できる、ワークショップを実施した。 ③各分野から講師を招いて連続講座を実施した。 (加藤種男:アサヒビール芸術文化財団事務局長、播磨靖夫:財団法人たんぼぼの家理事長、若林宏之:岡山県文化振興課、樋口龍二:NPOまる、西村隆彦:デザイナー他) |
| 事業実施結果及び効果 | 障害者の創造性を起点に、職業領域の拡大を図ったり、新たな就労の機会を得たりしている現場がある一方で、従来の福祉施設の作業を継続し課題を抱えているところも多いことがアンケートやインタビュー調査から浮かび上がってきた。障害者の芸術文化活動のブランディングと流通のスキームの構築は、単に障害者の文化的な生活水準の向上が目的と言うよりも、閉塞した社会においては、彼らの表現こそが社会にとってかけがえのない道しるべとなりうる。工賃水準の引き上げには、利用者との個人契約や施設側の協力・理解が不可欠であるが、県内においても、施設や地元の企業、少子高齢化の進む中山間地域などを繋いでいくコーディネーターの存在の必要が浮き彫りになった。 |
| 事業主体 | 〒700-0822 岡山県岡山市北区表町2-7-23 2F 特定非営利活動法人 ハート・アート・おかやま TEL:050-3103-4289 E-MAIL:info@artlinkcenter.net |

(注)1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。

2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。